



自分のまちは自分で守る

～登別市消防団で活躍しませんか～

問い合わせ 消防本部消防団担当
 ☎9611 Eメール: firedep@city.noboribetsu.lg.jp



消防団ってなに？

地域の消防活動を行う特別職の地方公務員です

市町村の非常備消防機関で、他の本業を持ちながら、権限と責任を持つ非常勤特別職の地方公務員として、『自らの地域は自ら守る』という精神に基づき、地域の消防防災活動を行っています。

入団資格はあるの？

地域のために活動したいと思う方が幅広く活躍できます

登別市に在住する18歳から60歳までの心身共に健康な方で、地域のために活動したいという思いのある方ならどなたでも歓迎です。

活動時の制服や報酬は？

制服や装備は貸し出すほか、1年間の活動に対する年額報酬や各訓練、災害出動など、消防団としての活動には報酬が支払われます

- ◆災害出動 4,000円/日
- ◆訓練出動 3,000円/日
- ・退職報償金～5年以上勤務して退職した場合には退職報償金を支給します
- ・災害補償～活動中に負傷した場合には補償制度があります
- ◆団員報酬 36,500円/年

『ホンネ』で語る！分団長インタビュー

①入団のきっかけ、②分団の特色、③地域との連携、④入団を考えている人へ



わた なべしょうこ
渡辺祥子分団長
(女性分団)

① 平成9年の女性団員募集開始時に誘いを受け入団しました。平成22年の女性分団発足を経て、組織の一員として地域防災を担う自覚がさらに強く芽生えました。

② 女性分団の特色は強い団結です。家庭や仕事と両立しつつ、互いに尊重し合う姿勢を重んじています。女性ならではのソフトな視点を活かし、人への優しさを忘れない活動が特徴です。また、過去に軽可搬ポンプ操法で『優良賞』を受賞したことは、団の大きな誇りです。

③ 特定の管轄はありませんが、かつて行った高齢者世帯への査察活動は見守りの面で大きな意義がありました。この経験から『自助』の大切さを地域の皆さんへ伝えたいです。

④ 消防団の最大の魅力は『人と人とのつながり』です。普段の生活では得られない多様な経験が、人生を豊かにしてくれます。活動と生活を両立できるよう、無理のない環境づくりを大切にしています。誰もが気軽に参加でき、共に地域を守る仲間として、ぜひ一緒に活動してみませんか。



かしわくら とよひと
柏倉豊仁分団長
(幌別分団)

① 昭和58年に当時の消防職員の紹介で入団しました。当時は薪ストーブが多く火災への対応が中心でしたが、暖房設備の普及とともに火災は減り、現在は自然災害への対応が増えたと感じます。

② 私たちの分団の特色は、仲が良く絆の強い、和気あいあいとした雰囲気です。伝統的な行事はありませんが、家族を慰労する会を開催するなど、温かな交流を大切にしています。

③ 住民との協力関係を大切にしています。団員も家庭を持つ身ですが、有事の際は各自できる限りの支援を行い、地域防災の一助となるよう努めています。

④ 家族を慰労する会で家族同士の交流を深め、活動への理解を得られるよう努めています。強固な絆を次の世代に引き継ぎましょう。



たかはし のぶ ゆき
高橋伸行分団長
(富士分団)

① 先輩の勧誘で入団しました。発足当時の昭和の頃は、主に製鉄所の関係者で構成されていましたが、現在は多種多様な職業の仲間が集まる組織へと変化しました。職業の枠を超えた絆が私たちの誇りです。

② かつて全道大会の常連としてしのぎを削った濃密な訓練の伝統を受け継いでいます。訓練への妥協なきこだわりと、機動力を追求し続けた歴史は、今も私たちの誇りです。

③ 避難訓練や消防・救急フェスティバルなど地域との触れ合いを大切にしています。温かいねぎらいの言葉や子どもたちの笑顔が私たちの活動の支えです。

④ 職場以外での仲間との交流は日々の良い刺激になります。地域の安全を守る誇りを、私たちと共に体験してみませんか。



消防団の主な活動は？

年間を通じてさまざまな行事を行っています。非常時には消火活動や避難所を支援します。

- ◆1月 消防出初式
- ◆9月 消防訓練大会
- ◆12月 出陣式・年末特別警戒

年末の繁忙期を迎え、消防体制強化と市民の火災予防意識の啓発を図るため、7分団がそれぞれの所管地域で警戒活動を行います。

【平時の活動】

◆火災予防広報・消防団員訓練

訓練礼式や機器取り扱い、放水訓練を行います。女性分団は、このほか、救急講習指導や高齢者世帯防火指導を行います。

【非常時の活動】

消防職員と連携し、消火活動支援を行い、大規模自然災害などでは、救助活動をはじめ、要請に基づき避難所の運営支援を行います。

消防団長から～地域のために力になろう～

現在、登別市消防団は150人を超える団員が地域の安全・安心のために日々活動していますが、まだまだ多くの力、特に若い力が必要です。

消防団員になるためには、特別な資格や経験は必要ありません。一番大切なのは『地域の為に力になりたい』という【覚悟と想い】です。そのような仲間を登別市消防団は求めています。



▲羽山副団長・野呂団長・山本副団長



しぶ た のり ゆき
渋田徳之分団長
(鷺別分団)

① 以前入団していた父や近所の消防団員の方の勧めで20歳代前半の頃に入団しました。当時は30から60歳代後半の方が多く、ほとんどの団員が自営業の方で会社員は3割程度でした。

② 室蘭市との境界線から富岸川付近までの地域で活動しています。現在は学生団員から60歳代まで幅広い年代の団員が、春の観桜会、消防後援会との交流や団員間の親睦会などを行っています。

③ 海と山に囲まれた地域ですので、地域の町内会の避難訓練にはこぞって参加しています。地域の皆さんから声を掛けていただき、励みにしています。

④ 家族や地域の方々を守り、地域に貢献したい方を募集しています。訓練には実技・座学がありますが難しく考えず、地域との交流の輪を広げましょう。



うさ み くり し
宇佐美護二分団長
(富浦分団)

① 1980年代に頻発した洪水です。『自分たちのまちは自分たちで守る』という強い意志から入団しました。時代とともに災害は激甚化・複雑化し、現代の消防団にはより専門的で重い責任が求められています。地域の守り手としての誇りを大切に活動しています。

② 結束の源は日頃の信頼関係です。年末の深夜まで交代でまちを広報して回るなど、伝統的なチームワークと絆こそが、私たちの分団の誇りです。

③ 春や秋の広報活動を通じ、住民の皆さんと互いに声掛けする時間を大切にしています。日頃の交流こそが災害時のスムーズな連携の基盤となります。

④ 組織の高齢化が進む今、若い皆さんの新鮮な力が必要です。地域の未来を守るため、私たちと一緒に新たな一歩を踏み出してみませんか。



あずま かわ ひろ ふみ
東川博文分団長
(登別分団)

① 気の合う仲間が多く入団したのがきっかけです。私たちが何より大切にしているのは、仲間意識を強く持ち、互いに尊重し合う組織風土です。

② 得意分野を生かした臨機応変な対応と、いざというときの規律が誇りです。家族も団の一員として行事に参加し、結束を深めています。時には訓練で厳しい場面もありますが、緊張感を共有し乗り越えてきた強い絆があります。

③ 防災訓練や個別相談を通じて、地域との信頼関係を深めています。団員は各町内会のボランティアにも積極的に参加しています。

④ 年齢性別問わず支え合う文化があり、災害時にさっそうと出動する姿は頼もしい限りです。ぜひ私たちと共に、地域の安全を守り抜きましょう。



うち だ とみ ゆき
内田知之分団長
(登別温泉分団)

① 職場の先輩に誘われた事がきっかけです。『自分たちのまちは自分たちで守る』という強い意志を持って日々活動に取り組んでいます。

② 温泉街で働く仲間が集まり、有事には迅速に団結できることが強みです。かつての土砂災害時も即座に参集し、迅速に行動できました。日頃の親睦会で顔の見える関係を築いているからこそ、現場での瞬時のチームワークに繋がっています。

③ 祭りやボランティアへの参加を通じ、住民の方々に顔を覚えていただく努力をしています。万が一の時は、ぜひ私たちを頼ってください。

④ 仲間との絆や現場の緊張感はここでしか味わえない魅力です。活動は無理のない範囲で行っておりまので、短時間からでも力を貸してください。